

アスリートの盗撮については、室内競技や屋外競技等の競技特性や、大会の規模などによって状況が異なるため、これまで競技毎に対応してきました。しかしながら、単一競技団体だけの対応には限界があります。

また、SNS 等のツールの発達に伴い、競技大会等での盗撮に留まらず、通常の競技写真に卑猥な言葉を添付して投稿・拡散する等、性的目的の写真・動画の悪用が多様化している状況にあります。

こうしたことを背景に、来年自国開催のオリンピックを控えているこのタイミングで、改めてアスリートが安心して競技に取り組める環境を守る姿勢を明確にすることが、東京2020 大会以降も多くの方にスポーツに親しみ、楽しんでいただくうえで不可欠と考えて、この度、アスリートを支える立場であるスポーツ関連団体（公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会、一般社団法人大学スポーツ協会、公益財団法人全国高等学校体育連盟、公益財団法人日本中学校体育連盟、独立行政法人日本スポーツ振興センター）が協力し、スポーツ界全体でこの問題に取り組むこととしました。

盗撮をはじめ、アスリートの写真・動画を使用した性的目的の SNS 投稿や WEB 掲載は、純粋に競技に打ち込むアスリートを傷つける行為です。そのため、今回の問題を検討するにあたり、これらを、「アスリートへの写真・動画による性的ハラスメント」と位置付けました。すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、まずはスポーツ界でできる取り組みを行います。

しかしながらこの問題を解決するためには、ファン、関係者はもちろん、メディアを含めた多くの皆さんの協力が欠かせません。これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

■スポーツ界における主な取り組み

- ・大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを後押しします。
- ・研修等を通じ、アスリート自身がネットや SNS で身を守る必要性を啓発していきます。
- ・SNS 投稿や WEB 掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。
- ・アスリートへの写真・動画による性的ハラスメントの防止を呼び掛けるため、ステートメントをデザイン化し、統一のチラシ、ポスターを作成、各統括団体や傘下団体等での公式サイトで掲載し、多くの関係者に対し協力を求めてまいります。

■検討にあたり留意した点

- ・ユニフォーム等に問題があるという議論は、今回の問題の本質を捉えていないだけでなく、被害者側に非があるかのような誤解を与えかねないため、取り上げない。
- ・ファンによる SNS 等での発信も競技普及においては重要という側面もあり、ごく一部の盗撮者により、多くのファンが純粋に競技を楽しむことを妨げることがないようにバランスに十分な留意が必要。
- ・SNS での拡散への対応等、スポーツ界だけの根本解決は難しい内容を含むため、引き続き関係各所との協力が必要
(JOC内の特設WEBサイトはこちらとなります。

<https://www.joc.or.jp/about/savesport/>)